

太田市立太田高等学校アメリカ研修 6 日目 (3/8)

ついに FLS に通う最後の日となりました。先生の英語を聞き取りやすくなった、クラスメイトと話せるようになったと言う英語面だけでなく、アメリカや他の国を知ること、日本や日本人について改めて気づくこともあったようです。電車やバスが遅れようと誰も気にしていなかったり、アメリカの授業スタイルが日本とは違い、皆自由に発言していることに驚いたり、カルチャーショックを受けながらも受け入れ順応していく日々でした。一週間はあっという間でしたが、本日最後の英語の授業が終わると先生やクラスメイトと写真撮ったり、話をしたりして別れを惜しむ姿が見られました。今日のランチは FLS が用意してくれたアメリカンスタイルの大きいピザ。到着時と同じ教室でそのピザを食べながら FLS スタッフと会話する姿を見ると、最初は話しかけられてもろくに答える事も出来なかったことを思い出し、随分この環境に馴染んだなと感じます。ランチ後は一人ひとり修了書を受け取り、短い間でしたが、やりきったと言う達成感が皆の笑顔から伝わりました。午後は MFA (Museum of Fine Arts) を訪れました。FLS のスタッフが案内してくれ、その作品の歴史的背景や、作者について解説をしてくれます。美術にあまり興味の無い生徒もいるかと思いましたが、飽きることなく時間いっぱい使い様々な芸術作品を見て回っていました。実際、「最初は楽しくないだろうと思ったけど、意外と面白かった」と言う感想もあり、今回出会った学生や昨日の松川原氏の講演でも言われていた、一見興味の無いことに対して捉え方次第で変わると言う言葉の通りであることが実感できたのではないかと思います。松川原氏の講演を受け、考え方や価値観が変わった、勉強に対する意欲が湧いたと言う意見や、自分を否定せず尊重したい、自分の意見を言えるようになりたいと言う今後の目標も日記には記されていました。来週から始まるラフィエットでの研修でどのように実践していくのか楽しみです。



クラスメイトの留学生と



最後の授業を終えて①



最後の授業を終えて②



最後の授業を終えて③



フェアウェルランチ



MFA にて①



MFA にて②